

令和5年度 音楽科 授業改善推進プラン

大田区立池雪小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

【低学年】

- ・マスク着用にもかかわらず、歌唱の声が豊かになってきた。
- ・鍵盤ハーモニカのタンギング練習で、息の強さ細さのコントロールができるようになってきている。

【中学年】

- ・吹奏楽器の基礎基本の練習を重ねることにより、表現する音楽の音色を意識することができるようになった。
- ・のびのび歌うことに重点をおいて指導したことにより、声を出すことに抵抗がなくなった。

【高学年】

- ・リコーダーの基本的な奏法(タンギングや指使い)について、1学年前の内容を復習し楽器に触れる時間を増やすことにより、技能を伸ばすことができた。
- ・発表の機会(連合音楽会や卒業式)が再開されたことにより、歌唱に意欲的に取り組み、声量も増して二部合唱することができた。

(2) 課題

【低学年】

- ・曲想を感じ取って演奏表現できるので、言葉でも表現できるように、語彙を増やす指導の工夫が必要である。

【中学年】

- ・自分の出している楽器の音について聴いて判断する力を伸ばす必要がある。
- ・友達と協力して演奏することに課題がある。

【高学年】

- ・楽器の演奏では音を出すことに精いっぱい、音色のよさや強弱の工夫などの表現に課題がある。
- ・マスク着用の影響で、歌唱での技能の習得とダイナミックな表現をする意識が低下している。

2 授業改善のポイント（観点別）

(1) 低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 歌う姿勢や口の開け方を意識させて望ましい歌声で歌唱する。 	<ul style="list-style-type: none"> 音楽を形づくっている要素（拍・反復など）を知って、意識して聴いたり演奏したりする。 曲想を表わす言葉一覧表をファイルに常備して学習に生かすことができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 楽しく活動する学習を続ける手だてとしてICTを活用する。

(2) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 様々な曲想があることを伝え、のびのびと歌う練習を重ねる。 リコーダーの基本奏法を習得するだけでなく、よりよい音を目指すために、自分の音をよく聴きながら繰り返し練習する。 	<ul style="list-style-type: none"> 音楽を形づくっている要素を理解できたことを生かし、楽曲の中で具体的に理解を深め、曲を味わったり表現したりできるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> グループ活動を通して互いの思いや工夫の良さを知り、自らの学習に生かせるよう発表する場を設ける。

(3) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> リズム唱や階名唱を十分にを行い、基本的な演奏の技能を伸ばす。特にリコーダーは個人差に対応して繰り返し練習する。 豊かに響く歌声のために、短時間の継続した練習を積み重ねる。 	<ul style="list-style-type: none"> 友達との交流やワークシートを手掛かりに、音楽を聴いて感じたことと音楽の要素（強弱、音色等）との関わりを考える学習を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 思いや意図を明確にもつことができる教材を選択する。 表現の場までの練習に見通しをもつことができるように、活動期間中に振り返り活動を行う。 ダイナミックな表現ができるように、音楽会の取り組みを活用し、友達と合唱する楽しさを味わわせる。